

REALIZE



富田後援会 REALIZE

ニュースレター



VOL.33 / 2021

冬号

「会員の皆様へ」二〇二二年を振り返って…



今年もどれほど、「新型コロナウイルス」という言葉を耳にしたり、口にしたでしょうか。この年末で、コロナの禍いと向き合って、2年になろうとしております。そのため、後援会の皆さん、町民の皆さんと直接お会い出来る機会が本年も少なく、ご無沙汰ばかりしております事をこの会報を通して、お詫び申し上げます。皆さん、お変わりございませんか。コロナ対応には、どのお立場におかれましてもご苦労が多く、ご家族を含めた大切な人のために、ご自身のために、ご心労も多い事にお見舞い申し上げます。さて、今年を振り返ると、私にとつて

とても寂しく、残念な出来事に、前後援会長の高橋義雄さんがお亡くなりになった事があります。改めて、ご冥福をお祈りいたします。

その後、コロナ禍においても、現在の五味会長さんには後援会運営にご尽力いただき、執行部会や限られた人数での役員会の開催を取りまとめてくださり、来年には、皆さんとお会い出来る機会を計画して下さっております。心強い限りです。

勿論、後援会の皆さんのお支えあつての私でありますので、私も皆さんと直接お会い出来る日を楽しみにしております。

少し会報について、触れさせて頂きます。コロナ対応の一部を報告させて頂きましたが、この事業を進めるには、いろいろな考え方を役場職員の皆と考え、そして、村瀬議長をはじめとする町議会議員の方々のご理解を頂く説明をしながら、町の考え方を認め頂きました事も併せてご報告させて頂きます。

二〇二二年が皆様にとって素晴らしい年に

なりますことを心よりお祈り申し上げます。

話しは少し変わり、11月末に、「ポールスターフェスティバル」と言う、イベントを少し拝見させて頂きました。音楽やダンスが好きな子供さんや若い人たちが、日頃のお稽古、練習の成果を幕山公園の特設ステージで発表する姿を見ることが出来ました。私は多くの観客の中の1人にすぎませんが、大勢の人には正直びっくりしました。

また、12月15日に五所神社での「歳の市」を車の中から目にした時も、やはり人が集まっている景色には、なんとなくホッとした気持ちになりました。

こんな思いは、暫く目にする事も、体験する事もなかった事から、無くなつて初めて、普通の事がどれだけ大切な事なのかと教えて貰いました。

ようやく、コロナ感染拡大が鈍化して来ましたが、まだ予断を許さない状況です。

感染予防に努めて頂き、来年が更に普通の生活に戻る事をお祈りし、今年最後のご挨拶とさせて頂きます。引き続きのご指導をお願い申し上げます。

皆さん、良い年をお迎えください。

湯河原町長 富田 幸宏



寒さがひとしお厳しくなりました。後援会員の皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は後援会活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

本年を振り返ったとき、残念でならないのが、前後援会長高橋義雄さんのご逝去です。高橋会長は富田町長の大きな心の支えであったと同時に、この後援会の黒柱にほかならず、我々は大切な方を失ってしまいました。ここに改めて、故人のご冥福をお祈り申し上げますとともに、少しでも故人のような貢献ができるよう現後援会長としての責任を自覚するところです。

さて、今年は1年延期で東京2020五輪が開催され、日本のメダル獲得数が過去最高を記録したり、ゴルフのマスターズで松山英樹選手が悲願の日本人初のメジャー大会制覇を成し遂げ、米メジャーリーグで大谷翔平選手がリアル二刀流で大活躍し、日本のプロ野球では球史に残る大接戦の日本シリーズをヤクルトスワローズが制したり、ノーベル物理学賞に真鍋淑郎氏を選ばれるなど、胸を熱くするシーンや嬉しいニュースがありました。

一方、悲しいニュースは今年も日本列島が自然災害の脅威にさらされたことです。特に、湯河原町も被害を被った7月の梅雨前線による豪雨では熱海市伊豆山で土石流災害が発生し、あの凄まじい映像は今も忘れることができません。

加えて、新型コロナウイルス感染症に今年も大きな影響を受けました。今でこそ、感染拡大は落ち着いていますが、今年神奈川県には緊急事態宣言が1月と8月の2回発出され、約4ヶ月半緊急事態宣言下におかれ、4月にまん延防止等重点措置の適用地域に指定され、期間は約3ヶ月半に及びました。宿泊・飲食・その関連業種を中心に事業者の方々は大打撃を受け、皆様の日常生活にも行動制限等の影響が多にあった極めて厳しい1年であったと思います。

新型コロナウイルス感染症は感染拡大防止の観点から、イベント、集会等の開催は制限、自粛することが当たり前となっていました。わが後援会も、夏の「納涼親睦会」、秋の「町長とのふれあいの集い」は、誠に残念ながら、2年連続で中止とさせて頂きました。非常に申し訳ない思いですが、ご来場下さる皆様方とスタッフの安心安全を第一に考慮した結果であると、ご容赦下さいますようお願い申し上げます。

この結果に、皆様方とお話ししたかったことをたとえ一部でも、お伝えすることができれば、との富田町長の強い思いから、今回は内面に特集記事を掲載させていただきました。

内容は、次のとおりです。

- ① コロナ禍で苦境にある町民の方や宿泊事業者、とりわけ、町の将来を担う子どもたちの子育て世帯や小中学校への支援を手厚く実施している総事業費5億円超の町独自施策
- ② コロナから身を守る大きな武器となる新型コロナウイルススワクチンの接種状況
- ③ 新たな癒しの場として生まれ変わった万葉公園・観光会館の整備事業

これら諸事業の実現には、日々奮闘する富田町長の姿が透けて見えるようです。わが後援会もしっかり富田町長を支えるため、全力を傾注していく所存です。

皆様には、これまでと変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、外出時のマスク着用・手指の消毒・まめな換気を継続しつつのご健康、ご活躍を心から祈念申し上げます。

富田後援会長 五味康隆

コロナに負けないぞ!!



おうちとみんなで
コロナをふきとばそう!!



「町長とのふれあいの集い」の開催は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年に引き続き、今年も誠に残念ながら中止とさせていただきました。そこで、富田町長が「町長とのふれあいの集い」で皆様にお話ししたかったことの中から、主な3点を抜粋し、この紙面にてお伝えさせていただきます。

総事業費5億円超のコロナ対策施策を実施！ 国・県が新型コロナウイルス感染症で生活や事業に影響を受ける方々への支援や暮らしと命を守る支援策を様々講じていますが、湯河原町も国からの「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を主財源に、富田町長の強いリーダーシップにより下表のとおり各種施策を実行しました。

I 新型コロナウイルス感染症対策（町の独自施策）

暮らしの応援・安全（事業費：約3億4,900万円）

施策（事業）名	概算事業費	実施年月	事業概要	実施内容等（2021年11月末時点）
1 暮らしの応援クーポンの発行	2億1,300万円	2020/5・8	家計の生活支援のため、全町民に地域商品券を配付	第1弾：1人3千円×約24,000人、第2弾：1人5千円×約24,000人
2 公共施設・学校等の感染拡大防止対策	9,200万円	実施中	公共施設・学校等に感染防止用備品の配付、換気設備改修等	消毒液、検温計、換気設備施設改修等
3 救急活動用品の整備	1,000万円	2020/8他	消防本部に滅菌装置等を整備し、コロナへの対応力を強化	滅菌装置・防護服、搬送用アイソレーター・オゾン水、オゾン除菌装置等
4 避難所備蓄品の整備	900万円	2020/8	感染防止対策・プライバシー保護用に避難所の備蓄品を整備	間仕切り、避難ルーム、防護服、マスク、消毒液等
5 秋の花火大会の開催	700万円	2020/10	町民の元気回復及び新たな生活様式へのキックオフとする	密を避けるため、車からのビューポイント等を設置
6 プレミアム商品券の発行	700万円	2021/6・9	地域経済を支えるため、プレミアム商品券の発行を助成	1割プレミアム・2割プレミアム（事業費の1/4を補助）ともに5千円×5千冊
7 抗原検査キットの整備	600万円	2021/3・8	感染者の関係者が自ら検査できる抗原検査キットを備蓄	2021年3月と8月に各800回分を備蓄
8 マスクの配布	450万円	2020/6	第2波への注意喚起・感染対策として全町民にマスクを配付	1人5枚×約24,000人

子ども子育て支援（事業費：約1億2,600万円）

1 学校給食費の補助	2,750万円	2020/6・9	学校の休業や各種要請への家計支援のため給食費を全額補助	町立小中学校の2020年6月15日から12月25日までの給食費を全額補助
2 ゆがわらっ子応援クーポンの発行	2,750万円	2021/3	子育て世帯応援と地域経済活性化を目的に地域商品券を配付	対象/高校生以下の約2,600人に各1万円分のクーポン券を配付
3 子育て世帯への臨時特別給付金	2,000万円	2020/6	経済的負担軽減を図り、子育て世帯に給付金を支給	対象/児童手当の支給対象児童約2,000人に各1万円を支給
4 低所得ひとり親子育て世帯への子育て支援特別給付金	1,100万円	2021/5	コロナの影響で収入が一定水準に低下した等の世帯を支援	対象/県の補助外の児童の世帯120、児童221人に各5万円を支給
5 児童・生徒通学等支援事業	1,000万円	2020/8	町外校に通学・入寮する児童・生徒を扶養する保護者を支援	対象/児童・生徒501人に各上限2万円を支給（支給は1回限り）
6 遠隔教育の推進	700万円	2020/8	学校の臨時休業の円滑化を図り、遠隔教育の環境を整備	町立小中学校の児童・生徒に1人1台遠隔操作用パソコン等を整備
7 修学旅行の支援	600万円	2020/8他	修学旅行中止に伴うキャンセル料及び代替旅行に対し助成	町立小中学校にキャンセル料76万円、代替旅行200万円を全額助成（2年度）、3年度は未確定
8 新生児への臨時特別給付金	600万円	2020/8	特別定額給付金非該当となった新生児に対し、同額を支給	対象/特別定額給付金非該当新生児59人に各10万円を支給
9 学童保育の延長	550万円	2020/4	保護者の負担軽減を図り、学童保育を午前中から延長実施	町立小学校の学童保育の延長実施分を全額助成
10 ひとり親家庭等支援事業	550万円	2020/8	経済的負担軽減を図り、ひとり親世帯に地域商品券を配付	対象/ひとり親世帯に各3万円分、第2子以降各1万円分162件に配付

高齢者支援（事業費：約1,200万円）

1 自宅で湯ったり高齢者温泉入浴事業	750万円	2021/6	心身のリフレッシュ効果を図り、温泉入浴セットを配付	対象/80歳以上の3,300人に入浴剤・温泉石鹸セットを贈呈
2 高齢者お出かけタクシークーポンの発行	450万円	2021/6	交通弱者対策として、高齢者にタクシークーポン券を配付	対象/80歳以上の3,300人に各2千円分を配付

事業所支援（事業費：約7,900万円）

1 新型コロナウイルス感染症感染予防対策助成金	2,700万円	2020/4他	事業の継続・再開のための感染予防対策経費の一部を助成	2年度/343件1,300万円（2～10万円）、3年度（3～10万円）は実施中
2 宿泊促進事業	2,600万円	2020/4他	宿泊利用者確保を図り、お得なキャンペーンやDM送付を実施	宿泊クーポン・地域商品券セットのプレゼント、宿泊者1.5万人にDM送付
3 月次支援金等非該当事業者等支援金	1,500万円	実施中	月次支援金等に非該当の売上低下事業者の事業継続を支援	対象見込みの300件に各上限5万円を支給予定
4 みなし法人持続化給付金	800万円	2021/3	持続化給付金対象外の「みなし法人」の事業継続を支援	対象/7件
5 海水浴場組合の支援	300万円	2021/9	休場を余儀なくされた海水浴場組合（海の家）を支援	1口20万円×15口

II 新型コロナウイルスワクチン接種（町の状況）

60～80代の接種率は90%超！ 湯河原町は新型コロナウイルスワクチン接種（1・2回目）の集団接種を本年5月7日から11月20日まで、隣にJCHO湯河原病院がある安心な環境下、町民体育館で実施しました。高齢者施設、個別医療機関、職域などにおける接種も加えた接種状況をお伝えします。

1 全年代接種率	1回目		2回目		2 年代別接種率	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上
	87.23%	対象 22,748人中、19,844人接種	86.59%	対象 22,748人中、19,697人接種		74.34%	79.84%	77.71%	82.18%	86.95%	90.67%	91.85%	90.92%	88.50%

III 万葉公園の整備事業（新生万葉公園・観光会館）

万葉公園・観光会館が生まれ変わってグランドオープン！ 本年8月31日、万葉公園・観光会館が新しい“日常から離れた場所で心身をリセットし、日常生活をリフレッシュさせる”ための過ごし方ができる場所として完成しましたので、その経過等をお伝えいたします。

- 2016年度 万葉公園等再整備事業を官民連携支援事業として万葉公園・観光会館の再生を検討開始
- ⇒ 2017年度 万葉公園等再整備事業にPark-PFI（公募設置管理制度）の導入を検討
- ⇒ 2018年度 Park-PFI（公募設置管理制度）事業化、街なみ環境整備事業への申請
- ⇒ 2019年度 Park-PFI（公募設置管理制度）事業者選定、地方創生拠点整備事業への申請
- ⇒ 2020年度 実施協定・工事契約・特定公園施設譲渡契約の締結、指定管理者の指定
- ⇒ 2021年度 4月27日プレオープン/万葉公園管理棟（観光案内、カフェ、コワーキングスペース、会議室等）

8月31日グランドオープン/日帰り温泉施設「湯河原惣湯」（露天風呂、サウナ、ダイニング、ラウンジ、ライブラリー等）



玄関テラス



熊野エリア



玄関テラス

